令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果から見た大関小学校児童の姿

坂井市立大関小学校

児童生徒の学力を把握する目的で毎年実施されている全国学力・学習状況調査が、４月に小学校６年生を対象に実施されました。大関小学校６年生（２１名）の平均正答率は、算数では、県や全国の平均を下回りましたが、国語は県と同程度で全国の平均を上回りました。

今年度の調査の結果から分かる本校児童の概要をお知らせします。学校では、今回の結果をもとにさらなる教育活動の工夫と改善に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、分析結果を参考にしていただき、生活習慣や学習習慣の改善にお役立てください。どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅰ　教科に関する調査結果

【国語・算数　平均正答率比較】

	国語	算数
福井県の平均との比較	○	△
全国の平均との比較	○	△

ポイントを比較して、
・５ポイント以上、上回っている‥５≦◎
・同じまたは上回っている　‥０≦○＜５
・下回っている　‥△＜０

【国語・算数　良好な点や課題点について】（△、○、◎は県の平均との比較の結果）

国　語

◎比喩や反復などの表現の工夫に気づき、分かりやすく伝える方法を選択することができている。
【知識及び技能】〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕（選択式）

◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。
【思考力・判断力・表現力等】〔読むこと〕（記述式）

△考えとそれを支える理由や事例など情報と情報の関係について理解することに課題がある。
【知識及び技能】〔情報の扱いに方に関する事項〕（選択式）

△引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
【思考力・判断力・表現力等】〔書くこと〕（記述式）＜参考①＞

算　数

○百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができている。
【知識及び技能】〔C　変化と関係〕（短答式）

◎二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができている。
【知識及び技能】〔D　データの活用〕（短答式）

△単位分数の個数に着目し、数直線上の１を表す目盛りをとらえることに課題がある。
【知識及び技能】〔B　図形〕（短答式）

△示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることに課題がある。
【思考力・判断力・表現力等】〔A　数と計算・C　測定〕（短答式）＜参考②＞

【課題となる問題について】

国　語

参考①

四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見えます。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そでででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、［　　］

5　終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見えます。白は雪の色であり、冷たい印象があります。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

〈条件〉

○【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。

○ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ（「　」）でくくること。

○ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。

○百四十字以内にまとめて書くこと。

◆

140字

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

（正答の条件）　次の条件を満たして解答している。

① 【集めた情報】の中から、以下のことを抜き出して書いている。
「本の題名」　「本文の一部の内容」

② 抜き出した部分をかぎ（「　」）でくくっている。①

③ 涼しく過ごせる衣服の色について考えたことを書いている。

④ 140 字以内で書いている。

解答例

「生活と太陽」という本には、「白は熱や光を反しゃする色のため、 熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。」 と書かれている。特に強い日差しが照りつけるえん天下では、黒い服より白い服を着る方が、すずしく過ごすことができそうだ。（123 字）

青は青でも、うすい青を選んで着るとよさそうだ。なぜなら、「夏のくらし方」には、「白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。」と書かれているからである。（111 字）

・引用した部分をかぎ（「　」）でくくっていない児童が見られました。
→「引用する」ことの理解が不十分であると考えられます。

・引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別して書くことができない児童が見られました。
→【集めた情報】から必要な情報を抜き出し、関係づけて表現することができなかったと考えられます。

算　数

参考②

(2) さくらさんたちは、昔遊びを担当することになり、下のように**【昔遊びの計画】**を立てました。

【昔遊びの計画】

遊び方について

- 前半と後半に、あやとり、または、かるたで遊ぶ。
- 前半と後半が、同じ遊びでもちがう遊びでもよい。

時間の使い方について



- 全体で使える時間は 60 分間。
- 準備は最初の 5 分間。
- 前半と後半の間の休けいは 10 分間。
- 片付けは最後の 5 分間。
- 前半と後半の時間は同じ。

【昔遊びの計画】を見ると、「前半」の時間は、何分間ですか。
答えを書きましょう。

（正答）「２０」

・「４０」と解答する児童が見られました。
→「全体で使える時間」から「準備」や「休けい」、「片付け」を引いた時間が「前半と後半」の時間であることは捉えています。しかし、「前半と後半の時間は同じ」であることから、「前半と後半」の時間を二等分すればよいことに気付いていないと考えられます。

【今後取り組んでいくこと】

国　語

・大切だと思った語句を丸や四角で囲んだり、関係する語句と語句とを線でつないだりするなど、目的に応じて、図示しながら情報を整理することで、児童が情報と情報との関係を構築していくような場面を取り入れていきます。
・筋道の通った文章を書くためには、まずは自分なりの考えを表現し、それを友達と伝え合う活動の中でよりよい文章になるように、つながりや配列など改善するとよい部分について伝え合う場面を取り入れていきます。

算　数

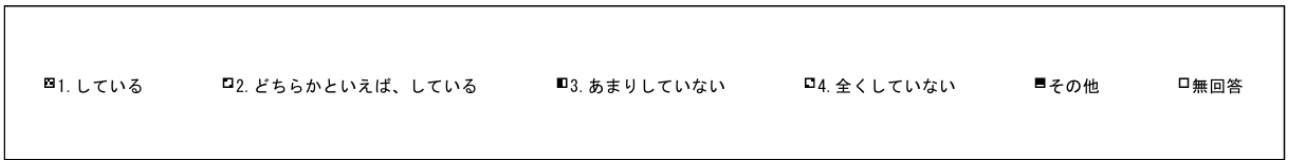
・情報を基にして、まずは児童がじっくり考える時間を与えます。さらに、児童が読み取った情報から分かることを絵や図、式など自分なりの方法で関係を表し、分かることについてペアやグループで伝え合う場面を取り入れていきます。

２　生活習慣や学習状況等に関する調査結果

全国学力調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も併せて行われています。ご家庭でも意識していただきたい質問項目を抜粋して挙げました。

生活習慣について

質問番号	質問事項											
（１）	朝食を毎日食べていますか											
選択肢	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	その他	無回答
貴校	89.5	10.5	0.0	0.0							0.0	0.0
福井県（公立）	84.4	10.5	4.1	0.9							0.0	0.2
全国（公立）	83.1	10.2	4.9	1.6							0.0	0.2



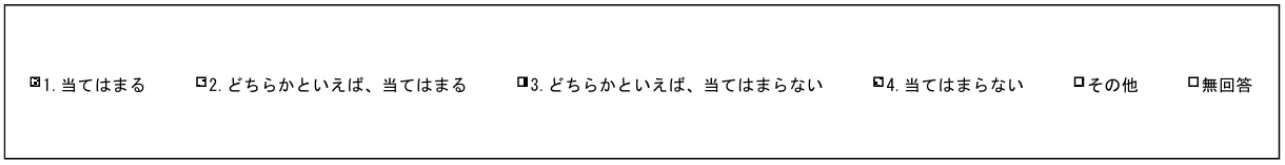
〇朝食を毎日食べていますか。

「している」、「どちらかといえばしている」　100%（県：94.9%　　全国：93.3%）

□朝食を食べることで、生活リズムを整え、子どもの健康な体づくりや脳の活性化による集中力や記憶力の高まりなどが期待できます。引き続きよろしくお願いいたします。

自分自身に関することについて

質問番号	質問事項											
（８）	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	その他	無回答
貴校	68.4	26.3	5.3	0.0							0.0	0.0
福井県（公立）	44.5	41.9	9.6	3.8							0.0	0.2
全国（公立）	43.6	42.0	9.8	4.3							0.0	0.3



〇自分にはよいところがあると思いますか

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」　94.7%（県：86.4%　　全国：85.6%）

□本校は、自分のよさを自覚している児童が多いと言えます。自分の強みを自覚し自己肯定感を高めていくことは、将来の社会生活の適応力をつけるなど、好影響を及ぼすことが分かっています。今後も、ポジティブ教育を推進しながら、児童一人一人を認めたり、友達や異学年と交流したりすることで、児童自らが自分の良さや役割を理解・認識し、自己肯定感や自己有用感が高まる取り組みを進めていきます。

家庭での様子について

質問番号	質問事項											
（４）	普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）											
選択肢	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	その他	無回答
貴校	5.3	10.5	26.3	26.3	21.1	10.5	0.0				0.0	0.0
福井県（公立）	19.3	16.8	22.5	23.9	11.0	3.8	2.6				0.0	0.1
全国（公立）	21.9	15.7	20.0	20.9	11.0	5.7	4.5				0.0	0.3

☒1. ４時間以上　☐2. ３時間以上、４時間より少ない　◧3. ２時間以上、３時間より少ない
☒4. １時間以上、２時間より少ない　☐5. ３０分以上、１時間より少ない　☒6. ３０分より少ない
☐7. スマートフォン等を持っていない　◧その他　☐無回答

○普段（月曜から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、SNS や動画視聴などをしますか。
　３０分以上視聴する児童（「１」～「５」）の割合　89.5%（県：93.5%　　全国：89.5%）
　１時間以上視聴する児童（「１」～「４」）の割合　68.4%（県：82.5%　　全国：78.5%）
　２時間以上視聴する児童（「１」～「３」）の割合　42.1%（県：58.6%　　全国：57.6%）

□多くの児童が普段から SNS や動画視聴をしており、長時間視聴している児童もいました。

質問番号	質問事項											
（２４）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）											
選択肢	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	その他	無回答
貴校	5.3	0.0	15.8	52.6	15.8	5.3					0.0	5.3
福井県（公立）	2.0	3.3	7.9	20.5	35.9	21.7					0.0	8.6
全国（公立）	2.1	2.8	8.5	21.2	31.2	23.3					0.0	11.0

☒1. ３時間以上　☐2. ２時間以上、３時間より少ない　☐3. １時間以上、２時間より少ない　☒4. ３０分以上、１時間より少ない
☐5. ３０分より少ない　☒6. 全く使っていない　◧その他　☐無回答

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、ICT 機器を勉強のために使っていますか。（遊びなどの目的に使う時間は除く。）
　３０分以上使う児童（「１」～「４」）の割合　73.7%（県：33.7%　　全国：34.6%）
　１時間以上使う児童（「１」～「３」）の割合　21.1%（県：13.2%　　全国：13.4%）
　２時間以上使う児童（「１」～「２」）の割合　 5.3%（県：　5.3%　　全国：　4.9%）

□学校教育における ICT 機器の活用の推進に伴い、子ども達がタブレット端末などの ICT 機器に触れる機会が増加しております。デジタル社会を生きる子どもたちにとって、これらを正しく使いこなす力は不可欠なものです。しかし、学習を豊かにする素晴らしい道具である一方、長時間使用や不適切な使い方により、健康面や生活面での影響も懸念されます。学校では、学習効果を高めつつ児童の健康・安全を守るため、使い方に配慮した指導を継続的に行います。ご家庭でも、作成いただいている「わが家のスマートルール」を活用していただき、機器の使い方を確認するなど、お子様の健やかな成長のために、ご協力をお願いいたします。

読書について

質問番号	質問事項											
（２６）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）											
選択肢	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	その他	無回答
貴校	0.0	15.8	10.5	36.8	15.8	15.8					0.0	5.3
福井県（公立）	3.8	5.3	13.2	23.5	17.2	26.5					0.0	10.5
全国（公立）	5.0	6.9	14.2	20.0	15.1	26.3					0.0	12.4

■1. ２時間以上　□2. １時間以上、２時間より少ない　◧3. ３０分以上、１時間より少ない　◪4. １０分以上、３０分より少ない

□5. １０分より少ない　◪6. 全くしない　◧その他　□無回答

〇学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

１時間以上読書をする　15.8%（県：　9.1%　　全国：11.9%）

３０分以上読書をする　26.3%（県：22.2%　　全国：26.1%）

全くしない　15.8%（県：26.5%　　全国：26.3%）

□「１時間以上読書をする」児童や「３０分以上読書をする」児童の割合は、県や全国の平均を上回っています。そして、「全くしない」児童の割合は、県や全国の平均を下回っています。学校では、朝学習の読書の時間や給食後の時間など、様々な場面で読書活動に取り組める時間があります。今後さらに日常的に読書に親しむ時間を意図的に確保し、読書習慣の定着を図っていきます。